

1) - 6 熱交換換気システムのための透明性の高い評価設計技術の構築【持続可能】

研究開発期間（平成 26～28 年度）

[担 当 者] 桑沢保夫、三浦尚志<研究分担者>

本研究開発課題は、熱交換換気を含み外皮及び空調設備から成るシステムの特性を根本から検証し直し、その省エネルギー実効性に係る透明性の高い評価法及び設計法を構築することを目的とする。熱交換換気による換気負荷低減効果に関する知見については諸課題が存在し、不透明な点が多々残されていることから、住宅及び業務用建築における暖冷房及び換気エネルギー消費量の削減対策として十分に活用されていない。本研究は現状を打開して適材適所による熱交換換気活用の実現を目指す。これに対して、建築研究所は、熱交換換気システムに係る実験室実験の準備及び実施、現場実測結果のとりまとめを担当する。

平成 28 年度は、熱交換効率及び有効換気量の試験手順について実際に試験を実施して検証を行った。